

Team 2023

四万十市立西土佐中学校 学校通信

2023年7月20日(木) No.13

文責：大塚

■終業式にあたって

1学期の終業式になりました。ついこの前、4月初めに始業式・入学式をして、気づいたら江川崎でも35℃を超える日があってもう夏真っ盛り、いよいよ夏休みです。生徒総会での意見交換を経て、今年から夏休み中の陸上練習は全員ではなく、希望者での活動としました。また、夏休み本来の家で過ごしたり遊んだり、自分で計画もって過ごす時間もとれるように、部活動(午後、練習試合等が入ることもありますが)や体育祭の準備、補充学習なども午前中に入れて昼のスクールバスにあわせて下校。午後は各自の時間となるように学校全体のタイムスケジュールを仕組んでいます。交通事故や水の事故には十分気をつけて、自分で計画立てて行動する夏休みにしましょう。

「おかえりプロジェクト」終業式で私(校長)のほうから生徒のみんなに協力依頼をしました。私が防災を通して知り合った、只野哲也さんの取組への協力です。只野さんは東日本大震災時に大川小学校5年生。津波に流されたけれど、奇跡的に助かった4人の小学生のうちの1人です。今年も震災遺構として残された大川小で、8月13日(日)に「おかえりプロジェクト」という集まりをします。生きている人も亡くなった人も、1年に1回ここに帰ってきてほしいという思いを込めて、大川を取り戻したいと仲間たちと一緒に活動しています。

生徒のみんなと教職員みんなで、その会場に飾る紙灯籠の文字を書きました。「追悼の意味でなくてもいい、今の自分の思いを文字にしてほしい」と依頼されています。

無事、今年もたくさんの方が集まって終了したら、只野さんに頼んでその様子を画像や動画で送ってもらいます。生徒のみんなの防災を通じた新しい出会いになることを期待しています。

■保護者の皆様へ～通知表の評定について(現行の「学習指導要領」に基づいて)～

今、各教科の評定は全教科で統一して3つの観点で評価を付けることとなっています。これは全国共通です。3つの観点とは「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」です。各教科でそれぞれの観点をABCで評価し、最終的に5～1の評定を付けることとなります。「十分満足できるものをA」としたうえで「十分満足できるもののうち特に程度が高い状況と判断されるものを5とする」と学習指導要領の解説書等に示されていますので、たとえば各観点の評定が「AAA」であっても「4」の評定と「5」の評定の場合があるということになります。

この評価では、今まで以上に生徒の力をトータルに評価することが求められる中で、テストの点数のみでなく、授業中の活動(グループやペアでの活動や発表等)に取り組む態度や意欲、レポートやノートに書いた振り返りなども重要な判断材料です。普段からきちんと取り組んで内容の充実をさせてほしいところです。ご家庭でも日々の取組を含めて、子どもたちを応援していただければ幸いです。

子どもたちがおとなになって生きていく社会では、今以上にグローバル化やAIの発達によって「知識・技能」だけでなく、「思考・判断・表現」する力や「主体的に取り組む態度」が大切だということに基づいての内容です。このような点をご理解いただき、今学期の通知表をご覧くださいと思います。

■お知らせ



みなさまご存じの方もおいでだと思いますが、本校の中庭には卒業生の作った東屋があります。今、この東屋は古くなって脚がぐらついていて、もし強く寄りかかったり台に上がったりすると倒壊するおそれもある状態です。事故があってからでは遅いので、8月19日(土)の愛校作業で取り除く予定です。思い出のある方もいると思いますが、どうぞご理解ください。